

2023年2月期
第 2 四 半 期
(2022年3月1日～2022年8月31日)

決 算 説 明 会

2022年10月13日

わらべや日洋ホールディングス株式会社
東証プライム： 2918

A photograph of a modern, multi-story commercial building with a grey facade and green accents. The building has large windows and a flat roof. The sky is blue with some light clouds. The text "Wardley Foods" is visible on the upper right side of the building.

グループ理念

私たちは「安全・安心」と「価値ある商品・サービス」の提供を通じて、
お客様の健康で豊かな食生活に貢献します。

経営理念

お客様のニーズを追求し、変革を推進します。
コンプライアンスを実践し、透明性の高い経営を行い、
社会から信頼される企業を目指します。
人を育て、働きがいのある、環境にやさしい企業を目指します。

■ 2023年2月期 第2四半期業績

■ 2023年2月期 業績予想

■ 持続的成長に向けた取り組み

連結業績

- コストの増加を売上増と商品の収益性改善で吸収し営業増益
- 前期の一時的収入の剥落もあり経常利益は前年同期を下回る

(単位: 百万円)	2022年2月期	2023年2月期	2023年2月期	前年同期比	予想比
	上期 実績	上期 予想	上期 実績		
売上高	95,980 100.0%	96,700 100.0%	97,858 100.0%	+1,878 +2.0%	+1,158 +1.2%
営業利益	3,192 3.3%	2,600 2.7%	3,376 3.4%	+183 +5.7%	+776 +29.8%
経常利益	3,928 4.1%	2,750 2.8%	3,058 3.1%	△869 △22.1%	+308 +11.2%
税金等調整前 四半期純利益	3,645 3.8%	2,920 3.0%	2,896 3.0%	△748 △20.5%	△23 △0.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,435 2.5%	1,750 1.8%	1,606 1.6%	△828 △34.0%	△143 △8.2%
EPS(円)	139.51	100.20	91.99	△47.52	△8.21

* 売上高～四半期純利益 上段: 金額 / 下段: 売上比、増減率

* 予想 2022年4月14日発表の予想数値

事業セグメント | 前年同期比

■ 食品関連事業の好調

(単位:百万円)		2022年2月期 上期	2023年2月期 上期	前年同期比		売上高・営業利益の主な増減要因
				増減額	増減率	
食 品 関 連	売上高	81,730	85,390	+3,660	+4.5%	売上 【国内】コロナによる悪化影響からの回復 +19億円 好調商品 おにぎり、和菓子 【海外】現地での売上増加と為替レート +17億円 利益 【国内】原材料・エネルギー価格上昇を売上増や 商品規格の見直しで吸収 【海外】売上増、為替レート
	営業利益	3,155	3,389	+234	+7.4%	
食 材 関 連	売上高	6,898	5,762	△1,136	△16.5%	売上 収益認識の適用（影響額 △9.8億円） 利益 仕入価格の上昇
	営業利益	106	36	△69	△65.3%	
物 流 関 連	売上高	6,724	6,505	△219	△3.3%	売上 不採算事業所の閉鎖 利益 エネルギー価格の上昇
	営業利益	358	353	△4	△1.3%	
食品製造設備	売上高	588	201	△386	△65.8%	売上・利益 取扱高の減少
	営業利益	△42	△50	△8	—	
そ の 他	売上高	38	—	△38	—	
	営業利益	△138	—	+138	—	
調 整 額	営業利益	△245	△353	△107	—	
合 計	売上高	95,980	97,858	+1,878	+2.0%	
	営業利益	3,192	3,376	+183	+5.7%	

営業利益 | 前年同期比

■ 増収効果と商品規格の見直しでコスト増加の影響を吸収

(単位:億円)

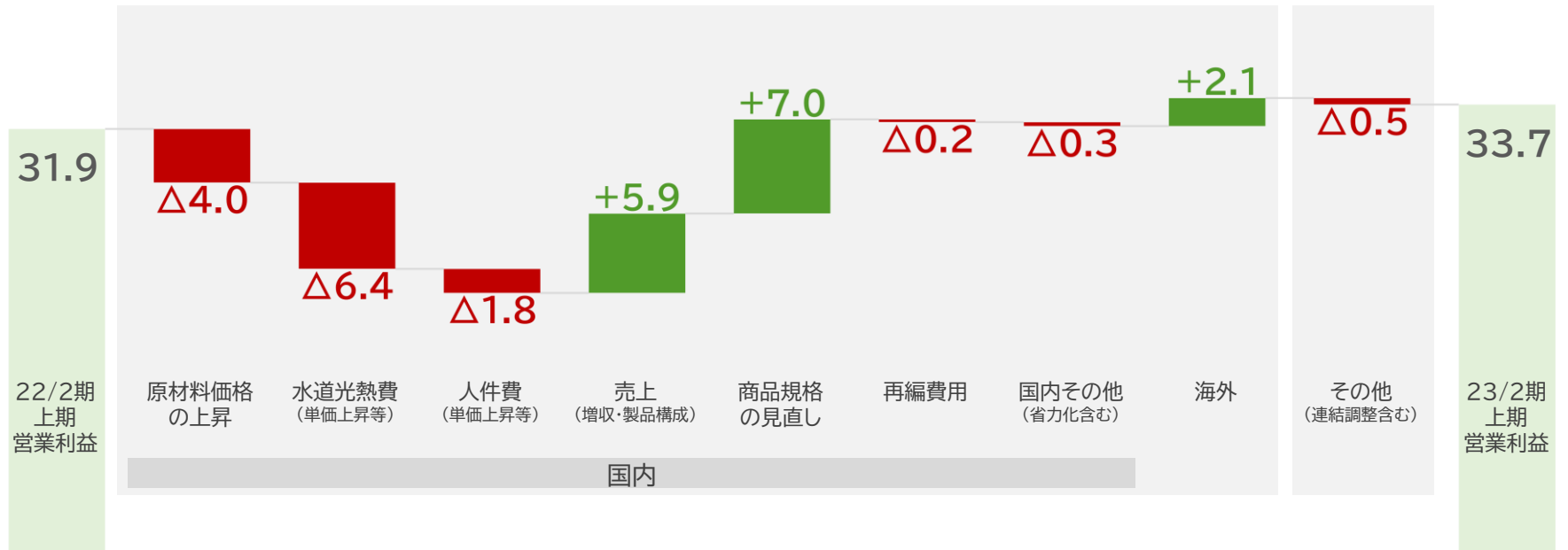
22/2期
上期

+1.8

23/2期
上期

食品関連事業

グループ 関連事業等



営業利益 | 予想比

■ 海外の食品関連事業は好調な業績を円安が底上げ

〈 23/2期上期 事業セグメント別予想との差異 〉

(単位:億円)

売上高

+11.5

食品関連

+8.3

国内

△4.2

海外

+12.6

食材関連

+7.9

物流関連

△1.1

食品製造設備

△3.5

営業利益

+7.7

食品関連

+8.0

国内

+5.7

・売上製品構成

+2.5

・商品規格の見直し

+3.0

海外

+2.3

食材関連

△0.3

物流関連

+0.0

食品製造設備

△0.2

営業外損益・特別損益

(単位: 百万円、%)	2022年2月期 上期		2023年2月期 上期		前年同期比増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	増減率
営業利益	3,192	3.3	3,376	3.4	+183	+5.7
営業外収益	928	1.0	499	0.5	△429	△46.2
営業外費用	193	0.2	816	0.8	+623	+322.6
経常利益	3,928	4.1	3,058	3.1	△869	△22.1
特別利益	—	—	500	0.5	+500	—
特別損失	283	0.3	661	0.7	+378	+133.8
税金等調整前四半期純利益	3,645	3.8	2,896	3.0	△748	△20.5
法人税等合計	1,111	1.2	1,209	1.2	+98	+8.9
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	0.1	80	0.1	△18	△18.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,435	2.5	1,606	1.6	△828	△34.0

営業外損益	前年同期比 △10.5億円	前期計上した一時的収入の剥落(コロナ助成金等)	△3.9億円
		持分法による投資損益の影響	△5.5億円
		その他(支払利息の増加等)	△1.1億円

特別損益	前年同期比 +1.2億円	内訳	22/2期 上期	23/2期 上期
		特別利益 事業譲渡益(新潟工場)		5.0億円
		特別損失 減損損失	2.8億円	6.6億円
		(内訳) 22/2期(岩手工場 2.8億円) 23/2期(岩手工場 1.4億円、新潟工場土地 1.1億円、日洋フレッシュ 3.9億円)		

貸借対照表、キャッシュフロー計算書

〈 連結貸借対照表 〉

(単位:百万円)	22年2月末	22年8月末	増減		22年2月末	22年8月末	増減
流動資産	29,467	37,223	+7,755	流動負債	21,539	23,741	+2,202
固定資産	52,716	53,933	+1,216	固定負債	12,744	16,825	+4,081
(有形固定資産)	44,376	45,678	+1,301	(長・短有利子負債合計)	9,315	13,196	+3,880
(無形固定資産)	445	339	△105	負債合計	34,283	40,567	+6,283
(投資その他)	7,895	7,915	+20	(利益剰余金)	31,253	31,979	+725
				純資産合計	47,901	50,589	+2,688
資産合計	82,184	91,156	+8,972	負債・純資産合計	82,184	91,156	+8,972

〈 連結キャッシュフロー計算書 〉

(単位:百万円)	2022年2月期 上期	2023年2月期 上期
(減価償却費)	2,409	2,340
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,974	4,041
(有形・無形固定資産の取得)	△1,832	△2,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,096	△3,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,195	1,728
現金及び現金同等物の期末残高	7,716	13,225

■ 2023年2月期 第2四半期業績

■ 2023年2月期 業績予想

■ 持続的成長に向けた取り組み

連結業績予想 | 通期

- 営業利益は過去最高益を見込む
- 最終利益は上期における特別損失を踏まえ減益予想

(単位: 百万円)	2022年2月期	2023年2月期	2023年2月期	前期比	期初予想比
	実績	期初予想	修正予想		
売上高	192,326 100.0%	194,000 100.0%	195,000 100.0%	+2,673 +1.4%	+1,000 +0.5%
営業利益	4,441 2.3%	4,500 2.3%	4,800 2.5%	+358 +8.1%	+300 +6.7%
経常利益	5,035 2.6%	4,750 2.4%	4,600 2.4%	△435 △8.6%	△150 △3.2%
税金等調整前 当期純利益	4,731 2.5%	4,800 2.5%	4,340 2.2%	△391 △8.3%	△460 △9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,264 1.7%	3,000 1.5%	2,600 1.3%	△664 △20.4%	△400 △13.3%
EPS(円)	186.98	171.78	148.88	△38.10	△22.90

* 売上高～当期純利益 上段: 金額 / 下段: 売上比、増減率

* 期初予想: 2022年4月14日発表の予想数値

* 修正予想: 2022年10月7日発表の予想数値

営業利益

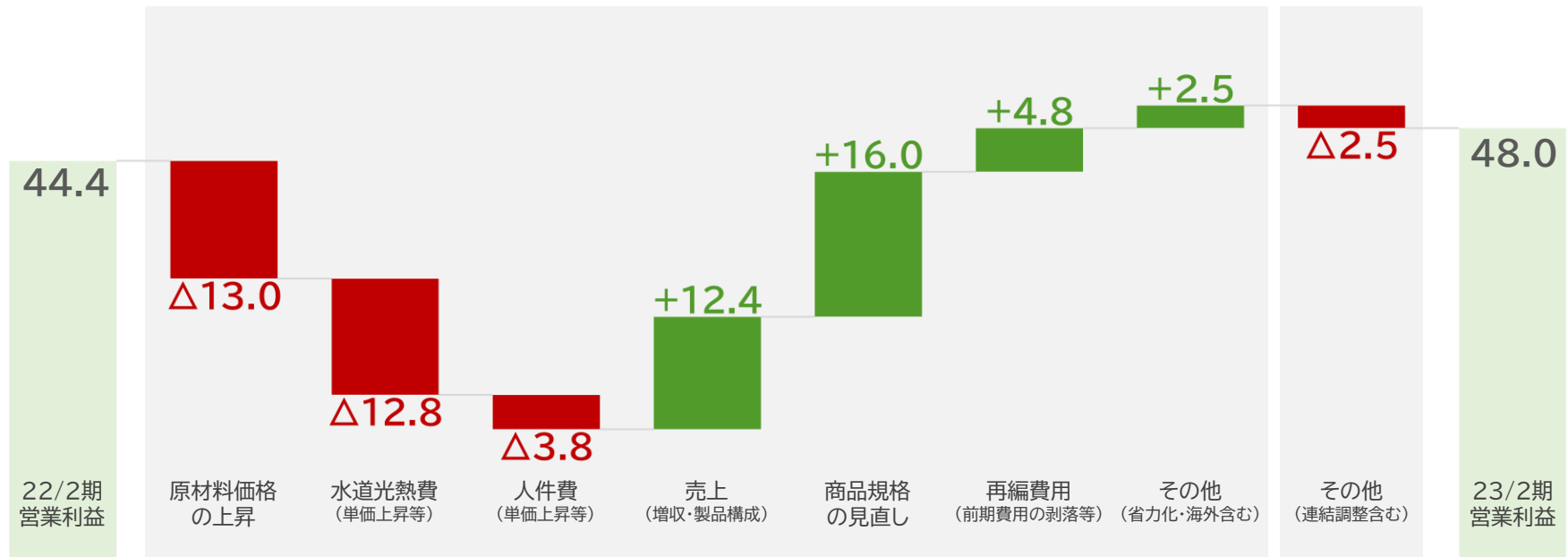
■ 今秋に生じた原材料価格・エネルギー価格の上昇による 更なるコスト増加の影響を織り込む

(単位:億円)



食品関連事業

グループ 関連事業等



■ 2023年2月期 第2四半期業績

■ 2023年2月期 業績予想

■ 持続的成長に向けた取り組み

当社グループの課題と中期戦略

外部環境の変化

- 原材料費、人件費、物流費の上昇
- セブン-イレブンの商品政策の変化や海外展開強化
- ウィズコロナ時代における生活様式の変化
- 中食市場における競争構造変化
(テイクアウト、宅配サービスとの競合等)

成長に向けた内部の課題

- 売上高の持続的成長
- 商品開発力、生産技術力の更なる向上
- 製造コスト増加への対応
- 食品関連以外の事業の収益性向上
- グループガバナンスの強化

持続的成長に向けた中期戦略

- ▶ 国内食品関連事業の「収益拡大」と「消費者需要の追求」
- ▶ グループ関連事業の収益性向上
- ▶ 海外食品関連事業の拡大(米国を中心に加速)

【国内】収益拡大＋消費者需要の追求

焼きたてパン・調理麺の商品供給開始が決定

事業譲受

相手先 株式会社ヒガシヤデリカ

譲受部門 ・ 各工場（北関東工場、東松山工場）が行うセブン-イレブン店への商品供給事業
・ 北関東工場の建物および設備（土地は別途取得の予定）

売上高 約130億円（2022年3月期）

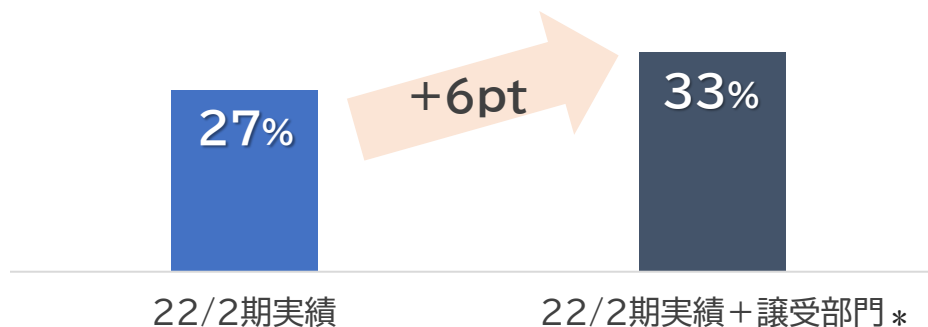
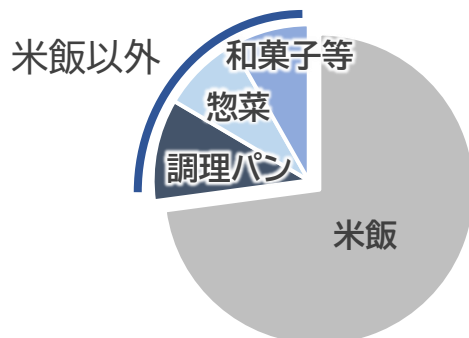
金額 約24億円（新工場設立に別途 約40億円）

時期 2024年3月（予定）

変化を見込む売上ポートフォリオ(国内食品関連事業)

4分の1にとどまる米飯以外のカテゴリー
（22/2期のカテゴリー別売上高構成比）

事業譲受で米飯以外の売上構成比は増加
（22/2期の実績と譲受部門を合算した場合との比較）



＊ヒガシヤデリカ売上高130億円

【国内】収益拡大＋消費者需要の追求

譲受事業の売上貢献は再来期(2025年2月期)から

工場の譲受

名 称	北関東工場
所 在 地	群馬県太田市新道町1237
延床面積	7,859m ²
主要設備	焼きたてパン、ドーナツ、ドリア
生産能力	25万食/日
譲 受 日	2024年3月
納品店舗	約1,000店舗(パン事業)



新工場の設立

名 称	新入間工場(仮称)
所 在 地	埼玉県入間市狭山台234
延床面積	10,271m ²
主要設備	調理麺、パスタ
生産能力	33万食/日
稼働時期	2024年3月
納品店舗	約1,500店舗

※新工場は、株式会社ヒガシヤデリカ東松山工場の商品供給事業を引き継ぐ



【国内】消費者需要の追求

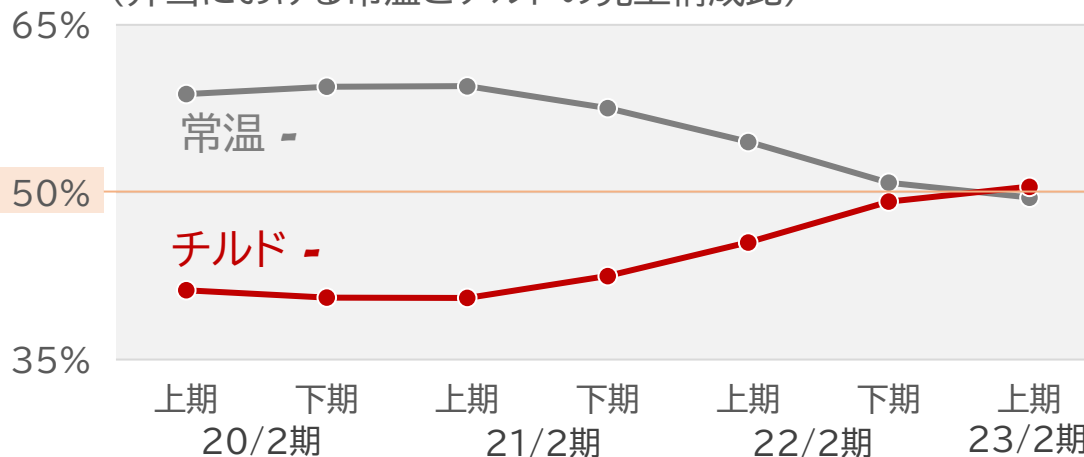
需要変化への柔軟な対応

消費期限の長い長鮮度化商品の需要増加

- ・店頭での欠品リスクが低下し販売機会損失を回避
- ・食品ロスの低減

コロナ禍で加速したチルド弁当のニーズ

(弁当における常温とチルドの売上構成比)



需要の更なる増加
を見込み既存工場
へのチルド・
長鮮度化ライン
の新設を推進中

今期は吉川工場
で新たなライン
が稼働予定

【国内】消費者需要の追求

開発力の更なる向上で高付加価値商品の供給を加速

消費者の“今”のニーズを的確に捉え満足度を高める



高品質な本格商品

ルー・ド・メール監修 特選ビーフカレー

赤身の多い国産牛肉にこだわり、味のバランスや調理工程も従来品レシピを大きく見直した。



ボリュームと見た目の彩り

具たくさんおむすび 明太子

たくさんの具が主張する具たくさんおむすびが本年6月にデビュー。300円(税別)の明太子は、ボリュームと見た目から話題に。



商品の深掘り

チキンカレー、ほうれん草のチキンカレー

スタンドパウチの新商品。既存の金のビーフカレーとバターチキンカレーとあわせ、スタンドパウチの4商品はすべてがカレーながら欧風カレーとインドカレーとですみ分け。



健康志向の高まり

ベジラップ、デニッシュサンド

健康志向に対応した商品として今秋より生産を本格化。メインターゲットの女性を意識し、食べやすい大きさにもこだわり。

吉川工場



野菜の加工にこだわった製造ラインを吉川工場に新設。

低温管理による野菜のおいしさの維持と最新の洗浄設備や検査工程による高い安全性備える。

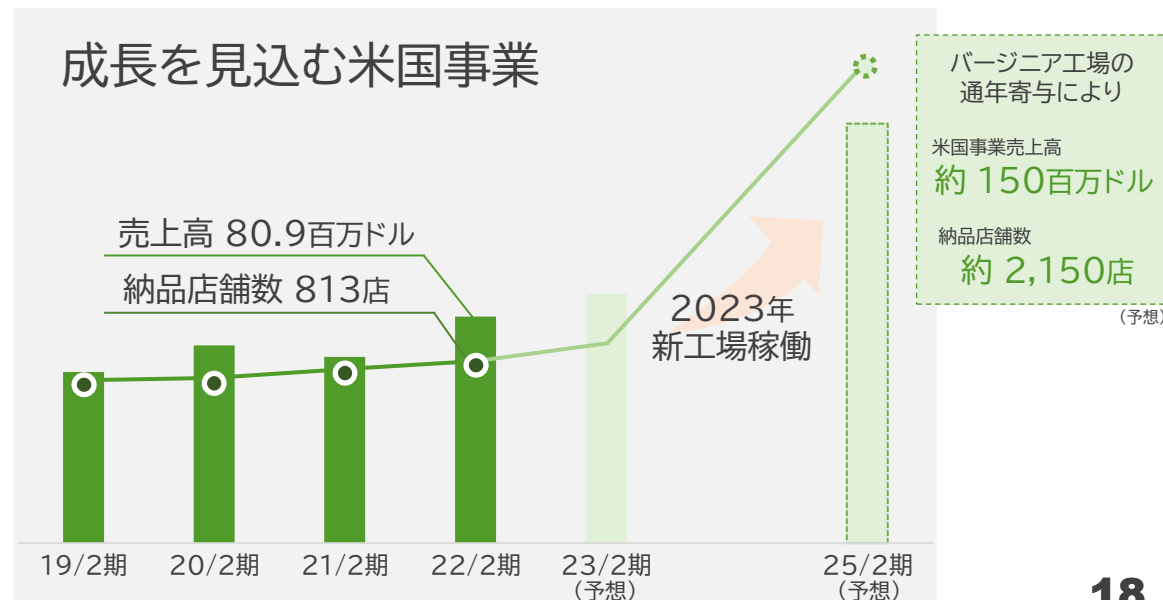
【海外】バージニア新工場

2023年の稼働に向けた準備が進む



所在地	米国・バージニア州スタフォード
投資総額	約 54百万ドル
延床面積	126,984sqf (11,797m ²)
納品店舗数	約 1,350店舗
納品エリア	バージニア州、ペンシルバニア州、メリーランド州 ワシントンDC、デラウェア州、ノースカロライナ州
製造品目	調理パン、軽食等

成長を見込む米国事業



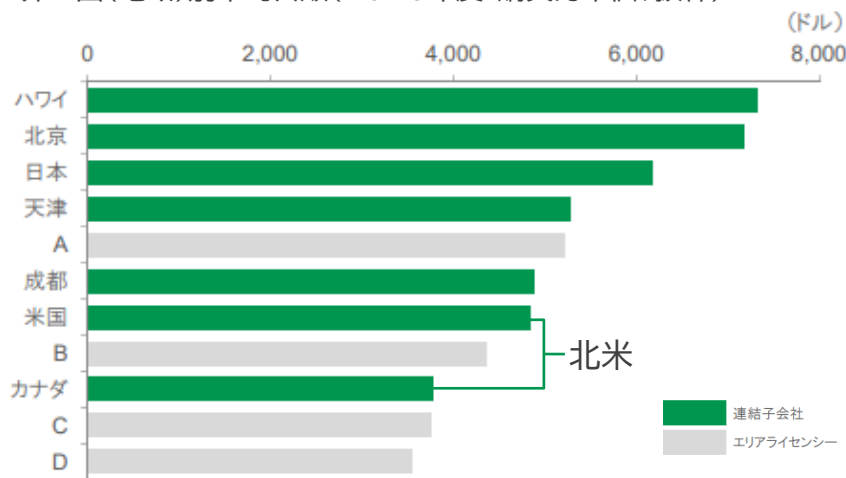
注) 写真の工場建屋には当社以外の部分も含まれます。

【海外】北米市場の成長

フレッシュフードの需要増加への期待

セブン-イレブンの平均日販

世界の国(地域)別平均日販(2020年度・購買力平価、抜粋)



北米の潜在需要

セブン&アイ・ホールディングス社が掲げる目標

2021
年度

フレッシュフード
比率
北米 13.0%



2025
年度
(目標)

20%超

15,000店超

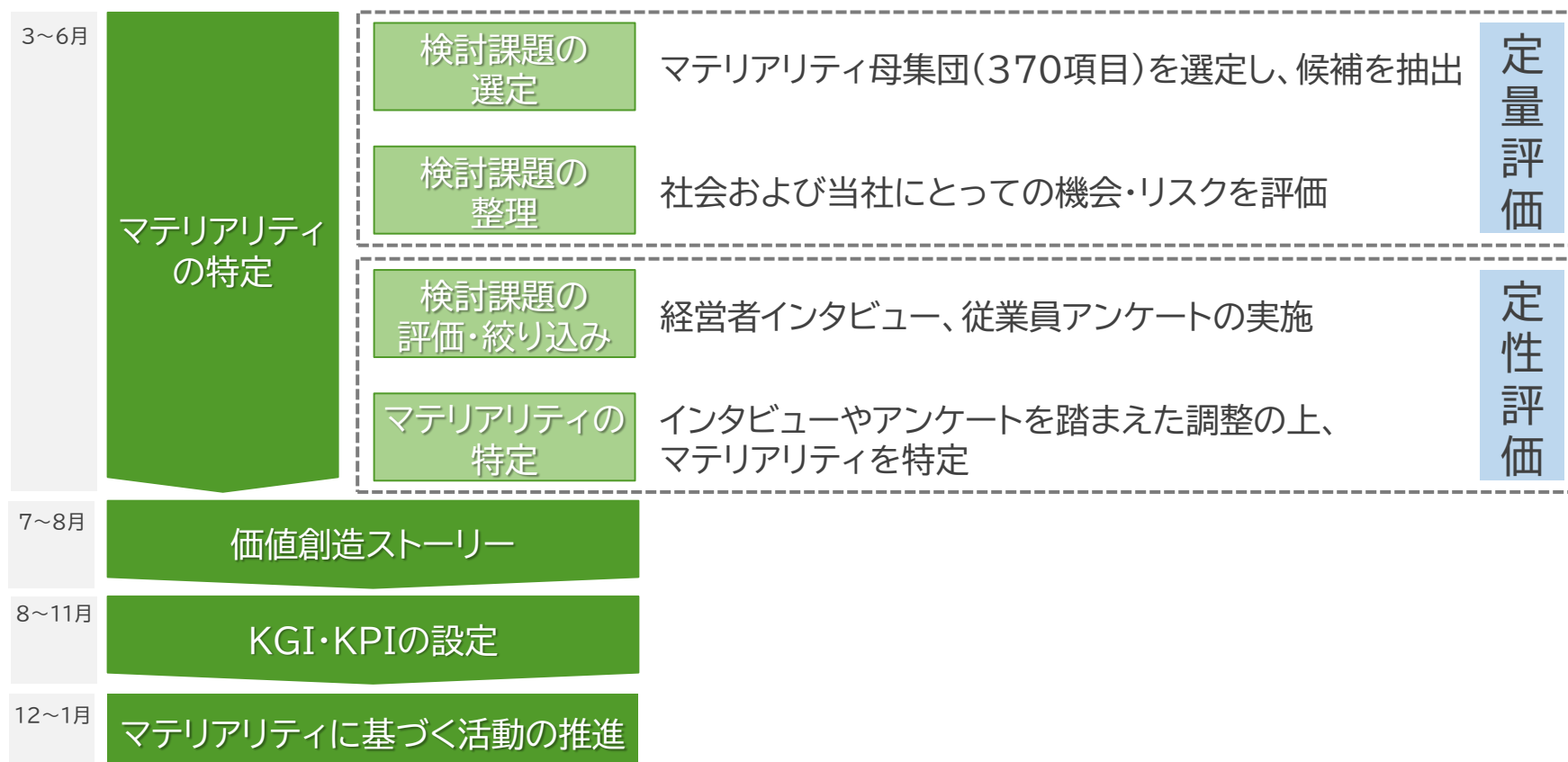
7-Elevenのエリアライセンスが参加した
SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC. 視察会
では当社工場の見学会も実施されました
(2022年7月開催)



サステナビリティ

マテリアリティの特定

スケジュール



本資料には、当社の本資料作成時点における計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれています。

この「将来予測に関する記載」には本資料発表時点までに入手可能な情報に基づいた当社の経営判断や前提が述べられており、諸与件の変化により実際の業績が「将来予測に関する記載」とは異なる可能性があります。

したがって、本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来にわたって正確であることを保証するものではありません。



わらべや日洋ホールディングス株式会社

お問い合わせ先

わらべや日洋ホールディングス株式会社
経営企画部

E-Mail: keiei-kikaku@warabeya.co.jp

Tel : 03-5363-7194